

鈴木鎮一著「もう一回」 Suzuki Meth 才能教育研究会 2020年10月20日刊を読む

もう一回

1. あるお宅で泊めていただいたとき、翌朝別室でお母様が子供さんのおけいこをしておられました。聞いていると、バッハのメヌエット第一です。子供が一回弾き終わりました。そうしたらお母様は「もう一回」と言われました。子供はまた弾きました。そして曲がすんだらお母様はまた「もう一回」と言われました。子供はまた弾きました。悪いところは**何べんやっても同じままで**す。子供が弾き終わるとお母様はまた「もう一回」と言われました。
2. これを聞いていた私は、これはこれとは思いました。これでは上手になるはずがありません。こんなおけいこをしている方があるとすると、うまくなるはずがありません。悪いところは**そのまま、何べんも繰り返しているのですから、悪いことは悪い才能として育てゆくばかり**です。その方は、反覆訓練は繰り返しということだと思って「もう一回」を繰り返しておられるものとみえます。
3. このお母様のように、例えば十五分おけいこをするつもりで、時計を見ながらただ「もう一回」を繰り返しておれば、上手になってゆくと思っている方がありますが、大変な間違いです。
“よりよき反覆訓練”ということが才能教育の勉強のやり方なのです。悪い部分的なところ、その悪い場所をゆっくりと矯正するおけいこをしなければ、いつまでも立派にはなりません。
4. お母様の「もう一回」のかけ声で、言われるままに繰り返して弾く子供、何と素直なことでしょう。しかもその素直で勤勉な子供が上手にならないのは、下手の繰り返しをやらせている練習の仕方が悪いからです。「努力しましたが立派になりませんでした。やはり生まれつきでしょう。」と言う人々は、どのように練習したかということを考えない人々なのです。
5. 山の周囲をいくら努力して歩き廻っても、山を登って頂上にゆくことにはならないのです。一步一步頂上に向かって歩く人々のみが、いつか高いところへ登ってゆく人々であります。それがたとえ少しづつでも“よりよき反覆訓練をする”ことが出来るならば、必ず上手になる、上達の正道なのであります。

5.	4.	3.	2.	1.	才能教育5訓
より正しき指導法	より優れたる指導者	より多き訓練	より良き環境	より早い時期	

<コメント>

バイオリン教育の第一人者で、スズキメソッドの創始者、鈴木鎮一先生の教えは、すべての学習の本質を教えてください。才能教育5訓は大いに参考にさせていただきたい。

2020年11月26日(木)